

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

【ラケットテニス交流会】

1 施設の感染防止対策

スポーツ庁「社会体育施設再開に向けたガイドラインR3.2.17」及び「安全に運動・スポーツをするポイント R2.5.22」を遵守するとともに、安心、安全、快適な交流会運営を実施する。

(1) 交流会参加者への注意喚起、対策

入場時は、検温及び手指のアルコール消毒を実施する。

次の事項に該当する者の参加制限（該当する者は、交流会出場を禁止する。）

- 大会当日、平熱を超える発熱（37.5℃以上）がある。
- 体調がよくない。（発熱・咳・咽頭痛・・・等）
- 突発性の味覚障害・嗅覚障害の自覚症状がある。
- 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさがある。
- 基礎疾患（循環器系、糖尿病、高血圧等）がある、あるいは免疫抑制剤や抗がん剤により現在治療中である。
- 新型コロナウイルス感染症の陽性とされた者との濃厚接触があった。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる。
- 14日以内に、海外への渡航または当該在住者と濃厚接触がある。

試合前後の握手なし。

握手やハイタッチ、ハグなどの接触行為を控える。

マスク持参、試合中以外はマスクを着用する。

こまめな手洗い。手指消毒を心がける。

試合中、観客席、移動、休憩時は、常に密にならないように人と距離をとる。（できるだけ2m以上確保する）

観客席では間隔を明け、人との距離を前後左右最低1席分あけて座る。

大きな声で会話をしない。応援、声援など大きな声を出す行為はしない。

競技用具以外（水分補給用のコップ、タオルなど）の共有はしない。

ゴミ、持参した飲み物容器等は持ち帰る。

受付、アリーナ入口（観客席⇄アリーナ）に消毒スプレーの設置。

大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルスに感染した場合には、主催者に報告する。

交流会終了後のミーティングなど密を避けるよう配慮する。

その他、感染防止のため主催者の指示に従う。